

薬事委員会決定事項

薬事委員会 書記
薬剤部 小泉 祐一

2019年8月16日の薬事委員会で以下の薬剤について決定いたしました。他の事柄についてもあわせてご報告いたします。

① 新規採用医薬品

グルファスト OD錠 5mg (糖尿病センター) 【院外限定】

薬効： 速効型インスリン分泌促進薬

申請理由： これまで、5mgの時は10mgの半錠の指示をしていた。今後、院外薬局での患者待ち時間軽減のため希望する。

採用中止薬剤： なし

チラーヂン S錠 25 μ g (糖尿病センター) 【院外限定】

薬効： 日本薬局方 レボチロキシナトリウム錠

申請理由： これまで、25 μ gの時は50 μ gの半錠の指示をしていた。今後、院外薬局での患者待ち時間軽減のため希望する。

採用中止薬剤： なし

ダルベポエチン アルファ注 (透析センター)

薬効： 持続型赤血球造血刺激因子製剤

申請理由： ネスプのバイオセウム製剤。同じ製剤であるが薬価が低いため、コスト面のメリットが大きい。

採用中止薬剤： ネスプ全規格
ただし、ネスプ120は残す(骨髄異形成症候群に伴う貧血の適応のため)

トスフロ点眼液 0.3% (アイセンター) 【院外限定】

薬効： 広範囲抗菌点眼剤

申請理由： 小児の適応のある抗菌点眼液。オゼックス点眼液 0.3%と同じ先発であるが、薬価はトスフロ点眼液 0.3%の方が安くコスト面でメリットがある。

採用中止薬剤： なし

② 使用成績調査

<ヘルニコア>

調査区分：一般使用成績調査

医薬品名：ヘルニコア®椎間板注用 1.25単位

調査目的：使用実態下におけるヘルニコア®椎間板注用 1.25単位の安全性(未知の副作用の検出及びその他の副作用発現状況の把握)及び有効性、並びにそれらに影響を与える要因を検出する。

調査予定期間：契約締結日～2022年3月31日

登録期間：契約締結日～2021年12月まで

観察期間：本剤投与後3ヶ月間

予定症例数：5例

調査責任医師：(家口 尚)

調査分担医師：(山田 賢太郎、伴 祥高、渡辺 享永)

調査区分：特定使用成績調査

医薬品名：ヘルニコア®椎間板注用 1.25 単位

調査目的：ヘルニコア®椎間板注用 1.25 単位の長期予後への影響（ヘルニアの再発、骨棘の形成、脊柱管狭窄症等）、並びにそれらに影響を与える要因を検出する。

調査予定期間：2018 年 12 月～2024 年 12 月

登録期間：一般使用成績調査の観察終了後、調査担当医師が EDC システムにて調査票情報を入力・送信すると、評価継続の可否について入力項目があり、評価継続が可能であることが入力・送信されると、特定使用成績調査の症例として登録され、調査が継続される。

観察期間：本剤投与開始から 3 年間（一般使用成績調査の観察終了から 2 年 9 ヶ月間）

予定症例数：5 例

調査責任医師：（家口 尚）

調査分担医師：（山田 賢太郎、伴 祥高、渡辺 享永）